

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001は取得していないが、ISO14001に準じた環境マネジメントを実施している			3.9			6	7						12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針を策定し社内に周知している														12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用を促進している								7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・TPS活動を通じ、資源のムダを排除する取り組みを継続して取り組んでいる													12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・安全衛生委員会にて法令順守の重要性を周知している ・人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる															16	16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・安全衛生委員会にて法令順守の重要性を周知している ・人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																16			
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許事務所と契約し、特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている								8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・『個人情報に対する基本指針』を定め、社内に周知し、体制を整備している																16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・購入品の製品情報を入手し、紛争鉱物が使用されていないことを確認している																16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・弊社方針を伝え、情報を共有する体制を整備している					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・客先毎の仕様に応じて、弊社内に蓄積したノウハウを提供する仕組みを構築している			3.9											12.4					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・客先毎の仕様に応じて、弊社内に蓄積したノウハウを提供する仕組みを構築している									9										
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・装置に使用される部品等を調達する際に、環境に配慮した製品を選定する仕組みを構築している					6							12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・労働力人口の減少に対応する生産ライン(自動化/省力化含む)を開発・設計・製作している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32 地域貢献・	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地産外商を積極的に取り組み、雇用創出・技術者育成に取り組んでいる				4					9		11	12		14	15		17	
		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・大震災等への義援金に協力している				4								11		14	15		17	
		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・長野県と日本国内の事業をつなぐハブ企業として事業を拡大し、地産外商に取り組んでいる									8	9		11	12	13				
35 組織体制	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・従業員が、『社員の行動指針8カ条』を常に携帯し、毎朝朝礼で唱和している									8	9							17	
		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・役員会、リーダー会議、全体朝礼等を通じ社内に周知している ・人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																	16	
		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境管理責任者を選任し、専門部署を設定している																		16
		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・役員会、リーダー会議等を通じ、自社の活動が及ぼす影響を共有し、対策を検討している																	16	17
		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・安全衛生委員によるリスクアセスメントを実施し、リスクの特定・評価・優先順位付けを実施している																		16
		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・役員会、リーダー会議、全体朝礼等を通じ社内に周知している ・人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																		16
		【事業継続】 ・事故や灾害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画に基づき、当社の重要情報については、専用装置にバックアップを行い、更にクラウドに保管している ・装置製作については、協力体制を拡充している											9		11		13	13.1		16
		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・事業継承に関する株式の評価額の試算及び事業継承の実行について、外部コンサルを入れて検討している										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）